

## タイの余剰米を活用した自然分解可能なプラスチック樹脂製造で 海洋プラスチックごみ問題に貢献 ～(株)バイオマスレジ南魚沼と委託契約を締結～

国際協力機構（JICA）は、株式会社バイオマスレジ南魚沼（新潟県南魚沼市、神谷雄仁 代表取締役）との間で、「タイ国余剰米を活用した生分解性プラスチック樹脂の製造及び普及による海洋汚染緩和のための案件化調査（中小企業支援型）」にかかる業務委託契約を6月20日に締結しました。契約期間は2023年8月までの約1年間となります。

海洋に流出しているプラスチックゴミは長期にわたり分解されず蓄積し続けるため、国際的に重要な課題であり、世界全体で対策の推進が求められており、環境問題として世界的に大きな注目を集めています。タイは中国やインドネシア等続く主要排出国の一つ（第6位）と推計されており、沿岸部や海に流出した海洋プラスチックごみの発生は、生態系を含めた海洋環境の悪化、船舶航行への障害、観光・漁業への悪影響、沿岸域居住環境の悪化等の被害につながっています。

提案企業のバイオマスレジ南魚沼社は、2007年にバイオマスプラスチック樹脂の製造事業を開始し、ライスレジ（お米由来の国産バイオマスプラスチック）を活用し、レジ袋・ゴミ袋や玩具、食品トレイ、食品包装容器などの製造・販売を担っています。さらに同社は京都大学との共同研究開発により100%自然界で分解される生分解性プラスチック樹脂（以下、<sup>ネオリザ</sup>Neoryza）の製造技術開発に成功しており、実用化に向けた海外での製造・販売計画の一環として、本事業で調査を行う予定となっています。具体的には、Neoryzaの製造技術が現地企業に適用可能か、現地ニーズに合致するかを調査し、同社の技術供与、製造設備導入、製品普及にかかる調査を実施します。

将来的には、生分解性バイオマスプラスチック樹脂に対するタイ政府の品質保証を得た上で、タイの海洋プラスチック問題を解消するための手法のひとつとして、同社製品が普及されること目指します。



100%自然界で分解される  
生分解性プラスチック Neoryza

バイオマスプラスチック樹脂 Rice Resin  
を使用した同社製品



\*本事業は、「案件化調査（SDGs ビジネス支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 民間連携事業部 企業連携第一課（担当：田中）  
TEL 03-5226-9283 e-mail : [ostp1@jica.go.jp](mailto:ostp1@jica.go.jp)